

国際ロータリー第2570地区 行田ロータリークラブ

2012-2013
国際ロータリーテーマ

RI会長：田中作次 / ガバナー：鈴木秀憲

会長：古沢 勇治 / 幹事：境野 登章

クラブ会報委員会：

委員長：持田 朋春

副委員長：富田 久雄

例会日：木曜日

午後 12:30開会

会場：ベルヴィアイトピア



第2274回 第十五回例会 (2012年 10月18日)

- ★ 点鐘 古沢勇治会長
- ★ ロータリーソング斉唱 それでこそロータリー
- ★ 四つのテスト唱和
- ★ 会長の時間 古沢勇治会長
- ★ 幹事報告

- ★ 委員会報告
- ★ 本日の卓話
- ★ 謝辞 古沢勇治会長
- ★ 出席奨励・スマイル委員会
- ★ 点鐘

★ 点鐘

点鐘



ロータリーソング斉唱



★ 会長の時間 古沢勇治会長



皆様、今日は！ 本日の例会もまた大勢の皆様のご出席を頂き、大変有難うございます。本日は職業奉仕月間の第二弾ということで、このあと「四つのテストと私の生業」というテーマで、会員卓話を頂きます。楽しく聞かせて頂きたいと思っております。そして本日の「会長の時間」は、第2680地区深川純一パストガバナー監修の「職業奉仕の原理とその実践」の中から、これかと思うところを抜粋して読ませて頂きたいと思っております。よろしくお願ひ致します。

“職業奉仕を理解するためにどうしても心に留めておいて頂きたいことは、ロータリー運動とは、倫理運動であるということです。即ち、ロータリークラブは単なる寄付団体でも慈善団体でもボランティア団体でもありません。ロータリアンに奉仕の心を授け、倫理を提唱していく団体、即ちロータリアンの心の開発を第一義とする団体であります。このロータリー運動が倫

理運動であるという視点を見失いますと、ロータリーの職業奉仕というものが判らなくなります。更に、ロータリーの社会奉仕とライオンズの社会奉仕との区別も判らなくなります。ひいては、ロータリー自体がよく判らなくなってしまうのであります(ライオンズクラブは社会奉仕を、国際ロータリーのように職域や個人で行うだけでなく、チームワークを発揮して行う団体)。何はともあれ、今ロータリーは、巨大な組織になりました。しかし、このロータリーも、そもそもの発端は、ポールハリスという青年弁護士 の頭脳に宿った一滴の発想、即ち一業一会員制の発想でありました。これが組織の原点であります。そして、この発想のもとに人々が集まり、そこに優秀な思想が生まれ、その思想を慕ってまた沢山の人が集まり、そしてまた色々な思想が生まれました。そして、それらの思想のもとに、様々な奉仕の実践が行われ、それが類型化された中で、これこそロータリーだということを象徴的に表しているのが、実は職業奉仕なのであります。

職業奉仕という言葉は、ロータリーの専門用語であります。一般世間の人達は、こういう言葉は使っていません。辞書を引いても職業奉仕という言葉はありません。ナポレオンは、『余の辞書に不可能の文字はない』と言ったそうではありますが、職業奉仕という文字も彼の辞書にはなかった筈であります。考えてみれば、これは奇妙な言葉であります。何故ならば、職業というものは、私達が生きて行くための、所得を得るための手段であって、これは自分のためのものであります。一方奉仕というものは、世のため、人のためのもの、即ち自分以外の人のためのものであります。このようにエネルギーの方向が全く正反対の二つの言葉を、一つに合体させて職業奉仕と言っているから、判りにくいのも無理はありません。

一つの例をあげます。一生懸命に自分の仕事をするのが職業奉仕であるという考え方があります。確かに、職業奉仕を実践するには、自分の仕事を一生懸命しなければなりません。しかし、その逆もまた真なのか？ 一生懸命に自分の仕事をすることは、ロータリアン以外の人達もしています。

～会長の時間 前のページより続き～

極端なことをいえば、暴力団でも一生懸命に自分の仕事をしています。しかし、これを職業奉仕と言う事はできません。やはり、職業奉仕とは何か、ということを理解しておかなければならないと思います。それは、知識として身に付く場合もあり、また体験の積み重ねによって身に付く場合もあります。この体験の集積によって身に付く例を一つ紹介しておきます。

『スイスの片田舎で、老婆がザルの中に羊の毛を入れて、それを小川の流に浸して洗っていました。そこへ神父さんが通りかかりました。「お婆さん、あなたは毎週教会にきて私の話を聞いているから、さぞかし物知りになっただろうね」「いや、神父さん、聞いても、聞いてもすぐ忘れてしまうので、何も覚えていませんよ」「ほう、それは困ったね」「でも、私はそれでいいと思うんですよ、神父さん。このザルの中を見てください。ザルの中には、どんどん水が入ってきますが、すぐザルの外へ流れて行ってしまいます。しかし、ザルの中の羊の毛はこんなに綺麗になっているでしょ。私も神父さんの話を聞いては忘れ、聞いては忘れませんが、それで私の心も少しは綺麗になっていると思いますよ』

この話は何を意味するか。聞いては忘れ、聞いては忘れながら、羊の毛のように、自分自身が磨かれていくと言うことを意味しています。従って、私達は、忘れることを怖れることはありません。出来るだけ沢山の人の話を聞き、沢山の本を読み、そして、聞いては忘れ、読んでも忘れ、ロータリーの話も聞いては忘れ、読んでも忘れず。しかし、何回も何回も、それを繰り返しながら、次第に自分自身が磨かれ、ロータリーが身につけていくのであります。その為にロータリーは、毎週、例会に出て来いと言うのであります。これが寄付団体であれば、毎週、例会を開く必要はありません。寄付団体であれば、例会は月に一回でも二ヶ月に一回でもよい、例会に出席しなくても寄付さえしていればよいのであります。ロータリーが、クリスチャンが毎週一回教会に行って心を磨くように、必ず毎週一回の例会には出て来なさい、と言うのはなぜでしょうか？ロータリーは、最初に申し上げたように、倫理運動であります。世のため人のために倫理を提唱していくためには、先ず、ロータリアン自身の心を磨き、倫理を高めなければ、世の中に倫理を提唱することができないのであります。従って毎週、例会に出席せよ、というのであります。そして卓話を聞き、良質な人達との接触を通じて色々なことを教わる。そのことは忘れてもいい。しかし、その体験を積むことによって、初めてロータリーが身に付いていく。知識だけではなく、そこに知恵が生まれてくるのであります。ところが、時々「私は職業奉仕が忙しいから例会には出席できません」と言う人がいますが、本末転倒の議論だと言わざるを得ません。職業奉仕を実践するためには、まず毎週の例会に出席すること、そして、その体験の積み重ねが、職業奉仕の理解に繋がるのであります“

以上、本日は、「職業奉仕の原理と実践」の原理の一端をご紹介致しました。聞いては忘れ、読んでは忘れながら、次第に自分自身が磨かれ、ロータリーが身につけていくという事、ここだけは押さえておいて下さい。この続きの実践の部分は、また、次の機会に、お話できたらと思います。そして本日は、皆様に「四つのテスト」の複製を職業奉仕委員会より配付させて頂きました。今回お配りしたテストは、半分から下に「四つのテストを仕事に生かす方法」を掲載致しました。ぜひ、ご自分の会社に飾って頂き、事あるごとに仕事にお使い頂き、社員はもちろん、取引先や同業者にも「職業奉仕の理想」を分かち合ってもらいたいと思います。それでは少し長くなりましたが、本日の「会長の時間」を終わらせて頂きます。有難うございました。

★ 幹事報告



皆様こんにちは。本日は職業奉仕委員会担当の例会と言う事で、小菅委員長・横田会員・鈴木克枝会員による卓話例会です。この後「本日の卓話」におきまして、宜しくお願い致します。

では幹事報告を申し上げます。今年度のメイン重点事業である「地域間交流ウォーキング」に関して、先日16日に地域間交流委員会の炉辺会合が行われました。今年度のメイン事業となりますので、全会員参加にて行う予定であります。来年の話で恐縮ではございますが、今から予定を手帳に記入しておいて頂けたらと思います。日時は来年の5月25日(土曜日)を予定しております。どうぞ、宜しくお願い致します。

来週の例会は、こちらアイピアではなく福島会員の長光寺さんにて行われます。時間は従来通りですので、お間違えのないようお願い致します。当日は福島会員に卓話をお願いしておりますので、多数の参加を宜しくお願いします。

来月のプログラムになりますが、毎年恒例の白河クラブさんとの交換卓話が行われます。その交換卓話の前に、11月8日、鈴木県議の卓話例会の日ですが、白河ロータリークラブさんのシスター委員長である鈴木邦典(くにのり)様と、友好クラブを結んでいらっしゃる浪江(なみえ)ロータリークラブさんより直前会長の伊藤様がお見えになります。ご来訪の目的として、白河ロータリークラブさんに関しては今年度の当行田クラブとの交流事業における話し合い。そして浪江(なみえ)ロータリークラブさんに関しては、前年度、当行田クラブより義援金をお渡

～幹事報告 続き～

した事によるお礼に伺いたいと言う事だそうです。それらの理由により、お忙しい中福島県より両氏をご来訪されますので、会員の皆様におかれましてはいつもよりも増して例会への出席を宜しくお願い致します。

季節柄、朝晩の温度差がある時期になって参りました。会員の皆様におかれましては、私のように風邪などひく事とないようお過ごし頂けたらと思います。以上で幹事報告とさせていただきます。ありがとうございました。

★委員会報告

※SAA 阿部克也委員長

※環境・歴史委員会 永島健雄副委員長



※雑誌委員会 「ロータリーの友」読みどころ紹介
富田久雄委員



★本日の卓話

職業奉仕月間 会員卓話(私の職業奉仕)
小菅克祥委員長 鈴木克枝会員 横田康介会員



～本日の卓話 続き～



★謝辞 古沢勇治会長



★出席奨励・スマイル委員会

※出席状況報告 野口一信委員長



T	・正会員数	56名
A	・85年規定承認者	12名
A	・理事会欠席承認者	0名
P	・本日の出席者	32名
B	・各承認者の例会出席者	6名
MU	・本日のメーキャップ者	6名
	本日の出席率	76%



古沢会長	今年度初めての会員卓話。楽しみにしていました。親睦にも効果的で良いプログラムだと思います。有難うございました。
境野幹事	小菅委員長様、本日はよろしく願いいたします。
諸賞会員	横田、鈴木、小菅の皆さん、卓話ありがとう。(追伸)妻に誕生祝のお花を頂き御礼申し上げます。
小山会員	鈴木、横田、小菅3人の卓話楽しみにしております。
山本会員	小菅さん、横田さん、鈴木さん卓話ありがとうございます。
永島会員	おかげ様で、忍城文政年間の城絵図が約3年の歳月をかけ完成をいたしました。
小菅会員	本日はよろしく願いいたします。

富田会員	本日雑誌委員のお役をさせていただきました。ありがとうございました。
持田会員	産文アートギャラリーにて行田市美術家協会写真部展開催中、見に来てください。
鈴木会員	解りにくい卓話にお付き合い頂き有難うございます。後日ラブコールを送った際には少しばかりお時間をお願いします。
関会員	卓話お世話になります。
中島会員	小菅様、横田様、鈴木様卓話ご苦労様です。勉強させていただきます。
福島会員	会員卓話を楽しみにしています。
岡田会員	早退します。
蔭山会員	早退します。
以下同文	小池会員 石渡会員 坂本会員 清水治雄会員 武田会員 山田会員 阿部会員 渡辺会員 坂田会員 小椋会員 鴨田会員 横田会員 橋本会員 斉藤会員 小沢会員 湯本会員 野口会員
本日のニコニコは45,000円でした。ありがとうございました。	

★ 点鐘 古沢勇治会長